

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 25 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 8 日 作成

事務事業名		合生地区ほ場整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連						
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり		所属部	産業振興部	課長名 渡邊直美						
	施策	11	農業の振興		所属課	農政課	担当者名 小畑英之						
	基本事業	29	生産基盤の確保		所属班	農地整備班	(内線) 1164						
予算科目					会計 1	款 6	項 1	目 12	事業連番 10265	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 2	コスト削減優先度評価結果 4
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)													
【事業の内容】 合生地区約45haのほ場整備の計画 (区画整備・農道整備・排水路整備・暗渠整備・堰の改修) 【業務の流れ】 ・役員会、推進委員会、地権者説明会を開催し、事業同意書を徴収する。 ・事業申請を行う。 ・ほ場整備の実施。 【主な予算費目】6-1-12-3 時間外勤務手当により支出。													

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・役員会、推進委員会を行った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・役員会、地権者説明会、同意書徴収を行う。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・農地(田・畑)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 会議開催数 回 イ 事業同意率 %
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・整備される。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 農地面積 ha イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・生産基盤が整っている。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア ほ場整備率 % イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア ほ場整備率/全体農地面積 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	260	250	242	239	124	0	0	
	(A) 事業費計	千円	260	250	242	239	124	0	0	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	4	3	3	3	3				
延べ業務時間	時間	590	650	650	650	650				
(B)人件費計	千円	2,342	2,587	2,587	2,587	2,587	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,602	2,837	2,829	2,826	2,711	0	0		
活動指標	ア 回 イ %		3 78	3 78		10 89	20 100			
対象指標	ア ha イ		44	44	44	44	44			
成果指標	ア % イ									
上位成果指標	ア % イ								22 年度	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

地元要望により開始された。(平成2年度より)

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

- ・補助率の低下(県20%から17.5%)。
- ・農家の高齢化や後継者不足。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・旧西合志町からの持越し事業であり、地域のことを考えれば是非、実施して欲しい。(議会等)
- ・将来を考え事業の実施を望む。(農家)
- ・地益権の問題解決なくしては事業できない。(関係農家)
- ・高齢者のため、負担金が払えない。(関係農家)

事務事業名	合生地区ほ場整備事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 新市建設計画に記載された計画である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 農業基盤整備事業であり、規模、内容の置いても県営事業となる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ ほ場整備未実施の地区であり、実施予定地区は全て対象としている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 農地の集積や営農改善活動計画による向上を目指している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 10aが基本の水田地帯であり、道路も狭く大型機械の耕作が不便である。事業を廃止した場合、耕作放棄地などが発生する恐れがある
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率的 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 役員会等で協議し、事業内容を検討している。(区画整理・暗渠排水・堰の改修)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・地元水利組合に維持管理を担ってもらおう方向性で進んでいくことにより、人為的な漏水事故が減ることが期待でき、人件費の向上余地がある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ ・人為的な事故の場合は原因者負担としており公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率的性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率的性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率的改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○	△	維持	△	△	低下	△	△	△
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	○	△																	
	維持	△	△																	
低下	△	△	△																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・現在は、土地改良区と市が協同、主導で維持管理をほぼ一元管理で行っており、事故が多発する時期においても水管理ができていますが、パイプラインの水利系統を熟知しつつ維持管理を地元水利組合に行ってもらえないと、実際の維持管理を任すに任せられない恐れがある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	4	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	10	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)